

フォトエッセイ #191

函館の市電ずかん

函館の市電に家庭用のクーラーを付けている
そんな情報が帰函間に
無い話ではないし、いいアイデア
手当たり次第に電車を撮っても・・・？
とどのつまりは
運転手さんに聞いて分かりました

折角だから函館の電車
紹介してみます

2025.7.20~23

島田 祥生

Sony α 7c+TAMRON20-200Zoom



昭和32年（1957）から34年かけて導入された
24台の710形唯一の生き残り
721号車から部品供給を受けて現役で頑張っている



昭和37年（1962）に800形として
12台を新潟鉄工所で製造
内11台は、1990~1992にかけて
アルナ工機でボディーを新調し
8000形に



8001と8002には
行き会えませんでした
改造して35年、廃車になっているのか

今回の情報は、2013年に刊行された
「函館の路面電車100年」に拠っています

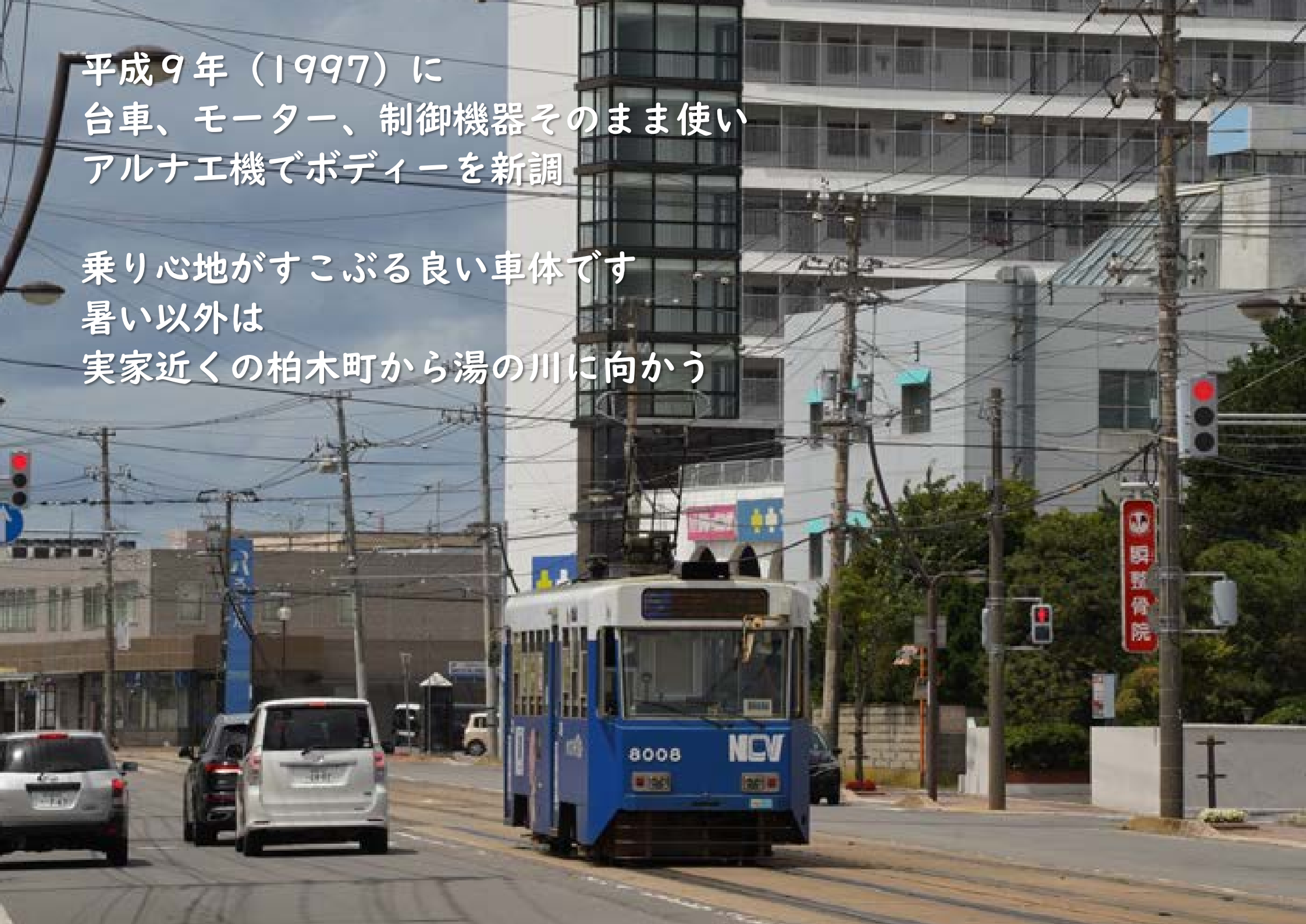


クーラー付きの車両を探しているのですが
屋根に室外機が見当たらないし
窓が全開

数年前までは
窓から入る風が心地よかったのですが

平成9年（1997）に
台車、モーター、制御機器そのまま使い
アルナ工機でボディーを新調

乗り心地がすこぶる良い車体です
暑い以外は
実家近くの柏木町から湯の川に向かう





函館五稜郭店 (0138)
33-5221

HAIR SALON
FIVE SAKI

五稜郭公園前

GORYOKAKUEN
50.00 50.00 50.00

五稜郭公園前

駒場車庫前
Kojimachikukumaekae

2 谷地頭

8006

JACCS

8010

布目号

五稜郭公園
Goryokaku
Park

五稜郭公園前の交差点ですれ違う 8000 形
出会えた 8000 形 8 台が現役のようです

松陰町24



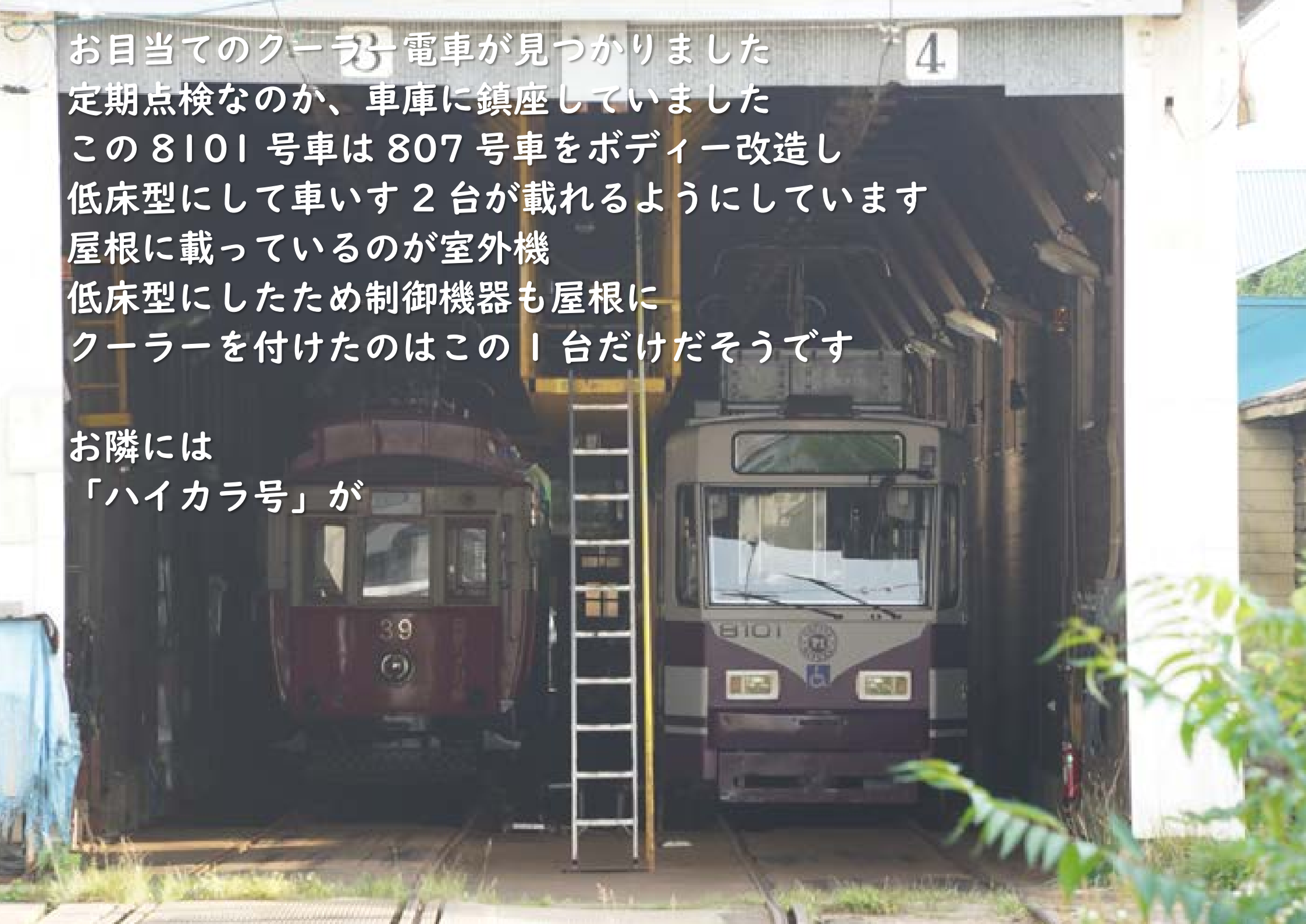
いやいや

800形として12台作った内の1台は
当時の姿のまま走り回っていました

脚周りはしっかりしているようですから
まだまだこの「雄姿」を見ることができそうです

お目当てのクーラー電車が見つかりました
定期点検なのか、車庫に鎮座していました
この8101号車は807号車をボディー改造し
低床型にして車いす2台が載れるようにしています
屋根に載っているのが室外機
低床型にしたため制御機器も屋根に
クーラーを付けたのはこの1台だけだそうです

お隣には
「ハイカラ号」が





この7000形は
「市電の100年」に載っていませんでした

7002号車、7003号車とともに
出会った3台は
2013年以降に造られた新造車ではないでしょうか

平成5年（1993）に2台作られた
そのあと2002号車は車体を改造し
冷房装置を付けて3001号車に





平成5年(1993)に
2000形をベースに造られた新造車
最初から冷房装置が付いている

3001号車には行き会わなかったが、
仲間3台には出会えました

床を低くしたためか
制御機器も屋根に
冷房装置も大きいですね

これでは家庭用のクーラーでは間に合わないですね



終点の谷地頭を出て
坂を上る「らっくる号」
9601号車
平成18年(2006)に導入された
超低床型の連接車です





9602 号車

正式には「鋼製四軸ボギー連接構造低床電車」

というのだそうです

現在 5 台が活躍中



駒場車庫内で一休み中の
9604 号車

9603 号車には行き会えませんでした

函館駅前から
観光客を満載して五稜郭公園前に

アナル車両が開発した「国産車」デス
それぞれのボディーに2軸ずつ
連接構造を見て見たいですね





駒場車庫内の 501 号車

昭和 24 年（1949）に事業拡張機に
大量導入された 500 形の 1 台

505 号機を国鉄五稜郭工場で車体を新調し

「アミューズメントトラム：カラオケ電車」として

貸し切り専用で活躍しています

走行音は 500 形のボギー台車の懐かしい響きです



この 500 形は思い出深い電車です
昭和 23 年（1948）の
路線拡張期に 30 台導入されました
当時 5 歳
2 軸ボギー車の安定した走り
車掌 2 名乗車（中間と後部に昇降口があった）
などなど、いろいろなことが思い出されます
今でもこの 1 台（実は前出の電車と 2 台）が
現役で活躍しているのは嬉しいことです